

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

令和元年度第6号 3月23日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

「一年を振り返って」



北海道新篠津高等養護学校長

日向正明

「令和」という新しい時代がスタートしたことの一年を振り返ると、昨年度と比べ、自然災害がなく、学校・寄宿舎ともに落ち着いて様々な活動に取り組める一年でした。また、部活動等を中心に、全道・全国大会に出場するなどその活動の場を拡げるとともに、多くの生徒の活躍が見られた年でもありました。

しかし、本年2月に入り、「新型コロナウイルス感染症」の感染者が拡大し、その感染予防のため、北海道のみならず全国の学校が臨時休業となりました。結果として、2月27日（木）から春休みが終了する4月7日（火）までの41日間の休業となる見通しです。

在校生については、この間、学級担任や舎室担任から電話等で生徒の健康状態等の把握を行ってきました。さらに、保護者の方々の御理解と御協力の下、登校できる生徒に限定はされましたが、各学年ごとに「分散登校」を実施し、学年修了の一区切りをつけることができました。

また、3月7日には、卒業生とその保護者、教職員に出席者を限定し、「第25回卒業証書授与式」を実施しました。私は、式辞のなかで、卒業生に対し次のお願いをしました。

卒業生の皆さん、振り返って後ろを見てください。今、後ろにいるのは、皆さんのご家族、そして先生方です。想像してみてください。今、空いている席に、後輩が座っていることを。これまでお世話になった方々が座っていることを、想像してみてください。その人は、今、皆さんに何を語りかけていますか？想像してみてください。後輩たちは、皆さんに、「卒業しても頑張れ、そして、今までありがとう」「先輩が拓いてくれた道はしっかり引継ぎます」などと語りかけているかもしれません。

人は、見えるものだけでなく、見えないものの中にもいろいろなことを感じるすることができます。皆さんも今日の卒業式に出席できなかった多くの人の思いを感じとることができるはずです。また、見えないものの中には、「思い出」というものもあります。辛い時、苦しい時、さみしい時に、この見えない力が、皆さんを前に突き動かす原動力になるということを覚えておいてください。

かけがえのない「思い出」を大切にするとともに、見えない人の思いに考えを寄せること、人の思いを感じることに、そして、その思いに応えようと努力することを忘れない人になってください。お願いします。

残念ながら1・2年生は、3年生に直接会って話しをすることはできませんでしたが、皆さんの思いは確実に届いていると思います。卒業生の思いをしっかり引継ぎ、上級生としてこれからの学校生活・寄宿舎生活をリードしてほしいと思います。

引き続き、感染予防の徹底をお願いするとともに、この一年、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきました保護者の皆様、地域並びに関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。



「卒業証書授与式」

3 学年主任 麻 畑 佳代子

3 月 7 日（土）、第 25 回卒業証書授与式が行われ、38 名が本校を卒業しました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、直前まで卒業式の実施が危ぶまれておりましたが、関係する多くの方々の御配慮、御協力により、保護者の皆様や教職員が見守る中、心温まるすてきな式が執り行われましたことに、安堵の気持ちと大きな喜びでいっぱいです。

卒業した皆さんは、いよいよ 4 月から社会人としての生活がスタートします。無理し過ぎず、頑張り過ぎず、自分のペースで働く生活を長く続けていくことを願っております。

生徒一人一人の自立を目標に、これまで温かい御支援、御指導をいただきました方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「同窓会入会式」

進路指導部 3 学年担当 木 元 稔 敦

本来であれば、3 月 3 日（火）に同窓会会長始め 3 名の先輩に協力をいただいて入会式や交流会を実施する予定でしたが、急遽内容を変更し、3 月 7 日、卒業式直前の 30 分間で実施しました。会長挨拶や、先輩たちの体験談は代読や紙面での紹介となりましたが、25 回生幹事の田村さんから「先輩たちを見習い、この学校で学んだことを胸に自分の力を信じて社会に飛び立ちます。」という力強い挨拶のあと、同窓会の活動や、社会人として気をつけることについて真剣な表情で説明を聞いていました。25 回生のみなさんが 2 年後、3 年後すてきな先輩として体験談を発表してくれる日を楽しみにしています。



「採用・利用内定通知書交付」

進路指導部 3 学年担当 富 山 聖 子

現場実習を行った 3 年生の元に、現場実習先から「採用・利用内定通知書」を学校に送っていただきました。3～6 週間の現場実習期間だけでなく、3 年間の学習の成果、進路先を決める経過を含めた評価と考えます。2 月の末から学級毎に順番に校長室で、一人ずつ校長先生に書面を読み上げていただいて、交付式を行いました。「自分のがなかったらどうしようと、心配でした。」とかわいらしい感想もありました。気持ちを新たに良いスタートを切ってほしいと思います。



編集後記

今年度の学校だよりもこれで最終号となりました。一年間、ありがとうございました。来年度もどうぞ宜しくお願いいたします。



